

# ぱーとなー

2006年10月  
第59号

## 耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています  
安全・安心・信頼の医療  
私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます  
無差別平等の医療  
私たちは人権を尊重した医療をすすめます  
患者負担の少ない医療  
私たちは室料差額はいたしません  
地域とともに歩む専門職の育成  
人権感覚をもつ専門職を養成します

## 今年も「ホスピス(緩和ケア)講演会」を開催いたします！

当院緩和ケア病棟は、今年で開設4年目となります。今日、緩和ケアにたいする社会の認識と需要は増加しつつありますが、残念ながらその内容については正確に伝わっていない事が多いのではないかと思います。緩和ケアが地域に定着し、患者さまにお気軽に有効に利用していただくためには、緩和ケア病棟がどのような施設であるかを知っていただくことが大切であると考えています。緩和ケアの本来の目的は、ご本人の辛い症状を出来る限り軽減し、気持ちの上でゆっくりと生活していただくことにあります。緩和ケア病棟は入院の形を取りつつも、病院と家の中間のような環境で、闘病の中で失ってしまった御自分の生活と人生を少しでもとり戻しながら、大切に過ぎて頂く場所であると思います。そのためには、ご本人とそれを取り巻くご家族や医療従事者との心の交わりを大切にする事は欠かすことが出来ません。

今回の講演会はボランティアの方々によるゴスペルの合唱とそれに続き、六甲病院の沼野尚美先生に御講演いただきます。沼野先生は数え切れないほど多くの患者さまやご家族の心の声を聞きながら寄り添ってこられた方であり、御講演は「心の交わり」に光をあてたものが多く、多くの患者さまやご家族、医療従事者に元気を与えていただける事と思います。

この講演会が、辛い闘病生活を過しておられる患者さまやご家族の何かのお役に立てることを願ってやみません。どうぞ、お気楽にご参加いただきますよう、お待ちしております。

緩和ケア病棟 医師 廣岡慎治

参加費無料  
第4回  
ホスピスケア  
(緩和ケア)  
講演会

緩和医療が目指すもの…  
心を紡ぎ…  
地域とともに生きる…

ホスピスや緩和ケアのことをもっと  
知っていただきたく、  
この講演会を開催しています。

生と死を見つめて共に生きる

第1部  
ゴスペル  
(演奏) AGC

第2部  
講演会  
(講師) 沼野尚美先生

第3部  
千の風になつての合唱  
(演奏) コール・ファミリー

2006.10/21  
SAT  
15:30-18:00 料1500  
西文化会館(ウエスティ)

## 講演テーマ

## 『生と死を見つめて共に生きる』

開催日時 2006年10月21日(土) 15時30～18時(開場15時～)  
場所 西文化会館(ウエスティ)  
住所 大阪府堺市西区鳳東町6-600  
TEL 072-275-0120

第一部 ゴスペル<演奏> AGC  
第二部 講演会 沼野尚美先生  
第三部 千の風になつての合唱

### 沼野尚美先生のプロフィール

武庫川女子大学薬学部卒業。神戸ルーテル神学校修士課程修了(神学修士号取得)。ケンシントン大学大学院行動科学研究科修士課程修了(心理学カウンセリング修士号取得)。病院薬剤師から病院チャプレンやカウンセラーに転職。チャプレンとしては淀川キリスト教病院、姫路聖マリア病院などを経て、カウンセラーとしては日本バプテスト病院などを経て、現在、六甲病院緩和ケア病院勤務。チャプレンとカウンセラーを兼職。京都ノートルダム女子大学非常勤講師。7つのホスピスで勤務し、2500人以上の方々との生と死に関わってきた。専門は癌患者とその家族の精神的援助と宗教的援助。著書『癒されて旅立ちたい』佼成出版社2002年『共に生きる道』佼成出版社2004年



耳原総合病院地域医療室  
電話 072-241-0324  
Fax 072-241-0208  
Fax 072-241-0670

受付時間 月・水・金 午前9:00～午後7:00  
火・木 午前9:00～午後5:00  
土 午前9:00～午後1:00

お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。

事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。

予約当日、患者さまが受診の際

保険証 診療情報提供書 上記予約票をご持参下さい。